

総選挙

# 躍進!

# 日本共産党

# 8



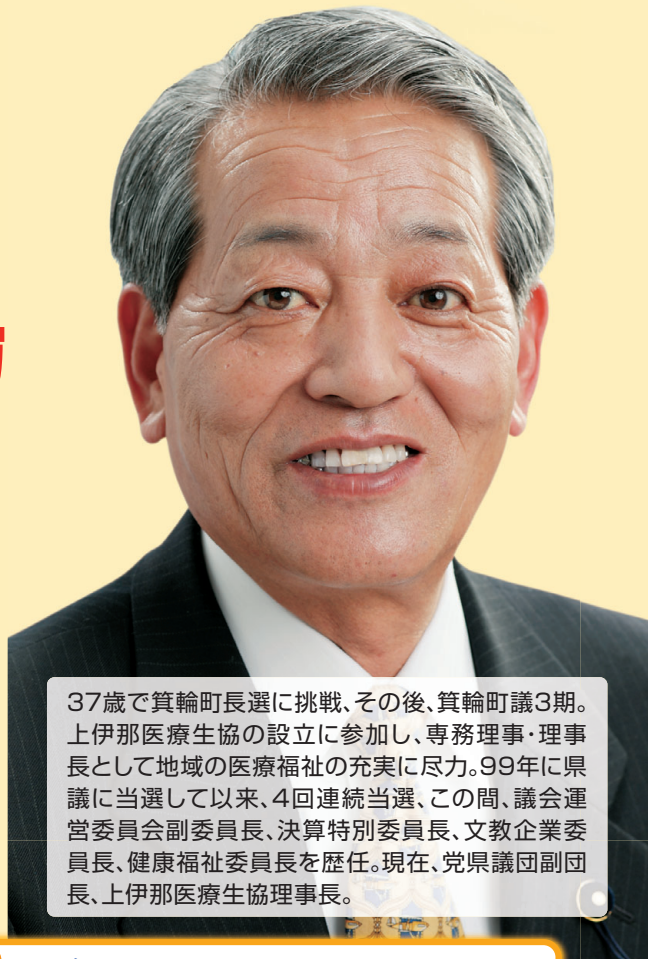
# 21

## 議席に

### 党派を超えて広がる信頼

県議会議員

# 小林 伸陽



四期16年皆様のご支援の力で県議会に送り出して頂きました。この間、無駄な事業を徹底し見直し、多くのダム計画など中止。議会でも全国に先駆け政務調査費の全面公開と飲食の禁止、観光まがいの海外視察も廃止させました。その一方で、小中学校の30人規模学級の実現など教育や福祉の充実。国道バイパス、春日街道の延伸など生活道路の整備にも取り組んできました。引き続き皆様の要望実現に全力で取り組みます。

37歳で箕輪町長選に挑戦、その後、箕輪町議3期。上伊那医療生協の設立に参加し、専務理事・理事長として地域の医療福祉の充実に尽力。99年に県議に当選して以来、4回連続当選、この間、議会運営委員会副委員長、決算特別委員長、文教企業委員長、健康福祉委員長を歴任。現在、党県議団副団長、上伊那医療生協理事長。

4月は  
県議選

# 安倍暴走ストップ 平和とくらしを守る県政を!!

#### 県政の医療福祉の第一人者

上伊那生協病院長 清水 信明

少子高齢化、核家族化が進む中で、住民の医療や介護の要望は大きく広がっています。県政の医療福祉の第一人者として、地域でも医療福祉・介護の充実の実践の先頭に立つ、小林県議のご活躍に期待します。

#### 我が町にとっても必要な人

箕輪町長 白鳥 政徳

県職員として長いお付き合い、議会での厳しい質問と具体的提案は今後の長野県にとっても益々必要です。地域でも、医療生協の理事長としての奮闘は、我が町にとっても必要な人。更なる活躍に期待します。

## 大きくなった国会議員団と力合わせて 願い実現へさらに全力

### 願い実現の力が何倍も大きく

日本共産党は衆院21議席で、単独で議案を提案する権利を獲得。17の常任委員会すべてに委員を送りました(11常任委員会は複数)。また、党首討論に志位委員長が立ち、本会議や委員会の質問時間も大幅に増え、みなさんの声を届ける力が何倍も大きくなりました。



初登院する大きくなった日本共産党衆議院議員団(2014年12月24日)

政党助成金廃止法案  
を提出します!!

躍進した党国会議員団の一員として、安倍内閣の暴走に対決・対案・共同の立場で、党県議団と力をあわせて、国政と地方政治を結んでいきます。そのためにも、国政に続き、長野県でも日本共産党を大きくするために力をおかしてください。

衆議院議員 藤野 保史

県民の願いを実現する力をもっと大きく、史上最高の8議席以上、2ヶタ県議団をめざします。



長野市区(10)

山口のりひさ(新)



長野市区(10)

和田あき子(現)



松本市区(6)

両角 友成(現)



上田市・小県郡区(4)

高村 京子(現)



佐久市・北佐久郡区(4)

ふじおか義英(現)



岡谷市・下諏訪町区(2)

もうり栄子(前)



塩尻市区(2)

びぜん光正(前)



上伊那郡区(2)

小林 伸陽(現)



飯田市区(3)

水野ちかあき(新)



須坂市・上高井郡区(2)

土谷ふみえ(新)